JAFRA NEWS
公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報
Japan Association for Rail Advertising

10月号
Vol.38
2016年10月1日発行

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808　FAX：03-3443-1616　メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

「交通広告グランプリ2016」グランプリは、グラクソ・スミスクライン㈱「ワキの多汗症は、お医者さんへ。」が受賞！

主催：株式会社ジェイアール東日本企画

7月25日（月）に「交通広告グランプリ2016」の各受賞作品の発表および贈賞式・祝賀パーティーが、ホテルメトロポリタン（池袋）で開催されました。

「交通広告グランプリ2016」は、2015年4月から2016年3月までの期間に、㈱ジェイアール東日本企画が管理・販売を行っている駅および車両のメディアに掲出された交通広告作品を審査対象とした交通広告最大の広告賞で、今年で28回目を迎えました。

グランプリを獲得したグラクソ・スミスクライン㈱スペシャリティケア領域マーケティングディレクター内藤寛之様（右）と㈱ジェイアール東日本企画代表取締役社長原口宰氏（左）

この広告賞に、当協会は後援として参加しており、協賛の「東日本旅客鉄道㈱」「㈱東京メディア・サービス」と共に交通広告の更なる発展に寄与することを目的としています。

審査作品数は総計1792点で、仲畑貴志審査員長を始めとした8名の審査員による厳正なる審査の結果、グランプリ1点、各部門の最優秀部門賞5点と優秀作品賞25点、JR東日本賞1点の計32点が選出されました。

最高賞であるグランプリに輝いたのは、グラクソ・スミスクライン㈱「ワキの多汗症は、お医者さんへ。」でした。

贈賞式・祝賀パーティーは、受賞広告主・広告会社の皆様、審査員の方々、プレス関係者、協賛社を代表して東日本旅客鉄道㈱常務取締役事業創造本部長 一ノ瀬俊郎氏、同執行役員総合企画本部品川・大規模開発

グランプリ

グラクソ·スミスクライン株式会社：**ワキの多汗症は、お医者さんへ。**

「交通広告グランプリ 2016」受賞作品リスト

部門	賞名	広告主	作品名
グランプリ		**グラクソ・スミスクライン株式会社**	**ワキの多汗症は、お医者さんへ。**
デジタルメディア部門	最優秀部門賞	独立行政法人日本スポーツ振興センター	BIG お金持ち入門
	優秀作品賞	株式会社栄光	三日坊主にならない篇
		全日本空輸株式会社	15S 旅割プロモーション 大連休篇
		KDDI 株式会社	みんながみんな英雄。
		サントリーホールディングス株式会社	Song&BOSS
		キリンビール株式会社	淡麗グリーンラベル イインダヨ！グリーンダヨ！！
車内ポスター部門	最優秀部門賞	東京海上日動火災保険株式会社	企業広告「挑戦シリーズ『オリンピック・パラリンピック』篇」
	優秀作品賞	日本テレビ放送網株式会社	第 92 回箱根駅伝
		サントリーホールディングス株式会社	HOME MADE STYLE
		キリンビール株式会社	グランドキリン
		キリンビバレッジ株式会社	ボルヴィック プラス ビタミン
		サントリーホールディングス株式会社	BOSS 北海道新幹線
駅ポスター部門	最優秀部門賞	大塚製薬株式会社	見せてやれ、底力。
	優秀作品賞	JR グループ	ふくしまデスティネーションキャンペーン「会いに行こう。福島」
		福井市	ビューティフク！ FUKUI CITY
		クラシエフーズ株式会社	FRISK NEO GRAPE
		株式会社豊田自動織機	ニッポンのフォークリフト
		株式会社ストライプインターナショナル	earth music&ecology 2016 春夏 新宿駅パノラマ広告
サインボード部門	最優秀部門賞	赤城乳業株式会社	BLACK チョコアイスバーレンタイン
	優秀作品賞	サントリーホールディングス株式会社	集中リゲイン 集中実験・Dr テアニンの挑戦状
		株式会社テレビ東京	金曜 8 時のドラマ「釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助」
		株式会社ジュン	YOU ARE CULTURE.
		公益財団法人東京動物園協会 葛西臨海水族園	教えて！葛西臨海水族園
		株式会社豆魚雷	2 さいになったらストライダー
企画部門	最優秀部門賞	認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・東京	Shoelace Code Poster
	優秀作品賞	株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	「巨人を削って駆逐せよ！ウォール・新宿奪還作戦」
		森永乳業株式会社	「朝のすっきり小道」
		株式会社集英社	山手線キングダム展
		独立行政法人情報処理推進機構	パ＊ス＊ワード　～もっと強くキミを守りたい～
		讀賣テレビ放送株式会社	二度見確実 !? 変身アート
JR 東日本賞		福島県	あなたの思う福島はどんな福島ですか？

部長 新井健一郎氏、㈱東京メディア・サービス代表取締役社長 佐々亨氏、当協会会長 今木甚一郎らが出席し、盛大に行われました。

【審査員一覧】

敬称略

●審査員長

仲畑 貴志　コピーライター　クリエィティブディレクター

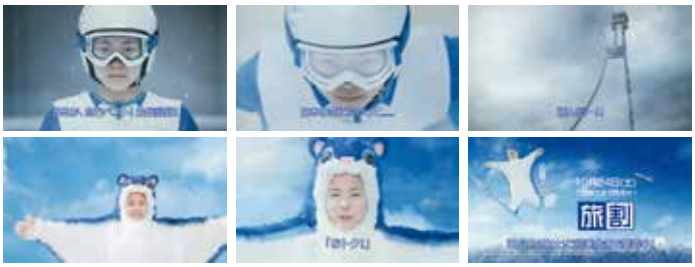
●審 査 員

川口 清勝	アートディレクター	原野 守弘	クリエイティブディレクター
十文字 美信	写真家	新井 健一郎	
副田 高行	アートディレクター	東日本旅客鉄道株式会社　執行役員	
田中 里沙	事業構想大学院大学学長／株式会社宣伝会議取締役	事業創造本部　副本部長（審査会時点） 現　東日本旅客鉄道株式会社　執行役員	
前田 知巳	コピーライター	総合企画本部　品川・大規模開発部長	

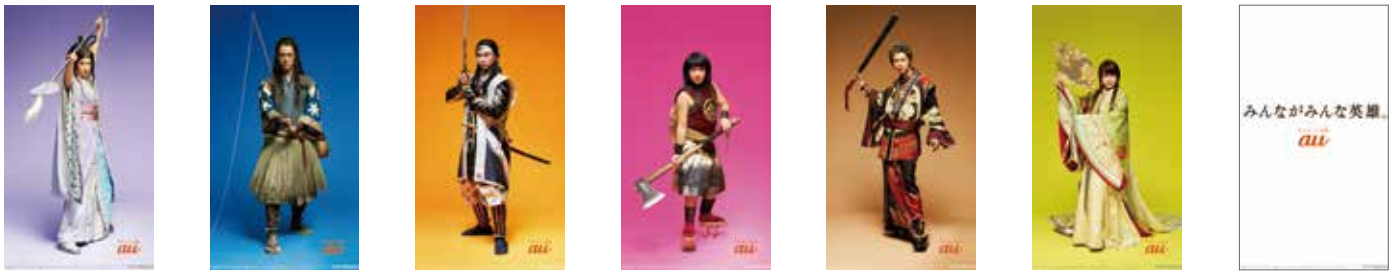
デジタルメディア部門

●最優秀部門賞　独立行政法人日本スポーツ振興センター：**BIG お金持ち入門**

●優秀作品賞　株式会社栄光：**三日坊主にならない篇**



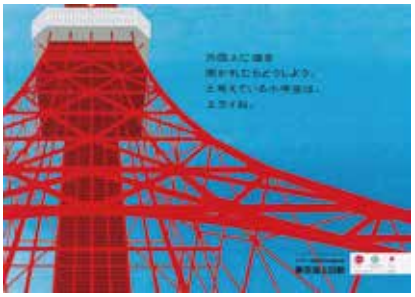
●優秀作品賞　全日本空輸株式会社：**15S旅割プロモーション 大連休篇**



●優秀作品賞　KDDI株式会社：**みんながみんな英雄。**

●優秀作品賞　サントリーホールディングス株式会社：**Song&BOSS**

●優秀作品賞　キリンビール株式会社：**淡麗グリーンラベル イインダヨ！グリーンダヨ！！**



●最優秀部門賞
東京海上日動火災保険株式会社：
企業広告「挑戦シリーズ『オリンピック・パラリンピック』篇」

●優秀作品賞　日本テレビ放送網株式会社：**第92回箱根駅伝**

●優秀作品賞　サントリーホールディングス株式会社：**HOME MADE STYLE**

●優秀作品賞　キリンビール株式会社：**グランドキリン**

●優秀作品賞　キリンビバレッジ株式会社：**ボルヴィック プラス ビタミン**

●優秀作品賞　サントリーホールディングス株式会社：**BOSS 北海道新幹線**

駅ポスター部門

●最優秀部門賞　大塚製薬株式会社：**見せてやれ、底力。**

●優秀作品賞　JRグループ：**ふくしまデスティネーションキャンペーン「会いに行こう。福島」**

●優秀作品賞　福井市：**ビューティフク！FUKUI CITY**

●優秀作品賞　クラシエフーズ株式会社：**FRISK NEO GRAPE**

●優秀作品賞　株式会社豊田自動織機：**ニッポンのフォークリフト**

●優秀作品賞　株式会社ストライプインターナショナル：**earth music&ecology 2016春夏 新宿駅パノラマ広告**

●**最優秀部門賞**　赤城乳業株式会社：**BLACK チョコアイスバーレンタイン**

●**優秀作品賞**　サントリーホールディングス株式会社：**集中リゲイン 集中実験・Drテアニンの挑戦状**

●**優秀作品賞**　株式会社テレビ東京：
金曜8時のドラマ「釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助」

●**優秀作品賞**　株式会社ジュン：
YOU ARE CULTURE.

●**優秀作品賞**　公益財団法人東京動物園協会 葛西臨海水族園：**教えて！葛西臨海水族園**

●**優秀作品賞**　株式会社豆魚雷：
2さいになったらストライダー

企画部門

●最優秀部門賞
認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京：
Shoelace Code Poster

●優秀作品賞　株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント：
「巨人を削って駆逐せよ！ウォール・新宿奪還作戦」

●優秀作品賞　森永乳業株式会社：**「朝のすっきり小道」**

●優秀作品賞　株式会社集英社：**山手線キングダム展**

●優秀作品賞　独立行政法人情報処理推進機構：
パ＊ス＊ワード　～もっと強くキミを守りたい～

●優秀作品賞　讀賣テレビ放送株式会社：**二度見確実!? 変身アート**

● JR東日本賞　福島県：**あなたの思う福島はどんな福島ですか？**

「交通広告グランプリ2016」受賞作品展示会が大盛況のうちに終了！

ジェイアール東日本企画が主催する「交通広告グランプリ2016」の受賞作品展示会が、東京駅に隣接する「サピアタワー ステーションコンファレンス東京」で8月23日と24日の2日間にわたり開催された。

ステーションコンファレンス東京に会場を移して3年目となる今回も、交通広告の効果を体感できる展示が実施され、広告主・広告会社をはじめとする多くの方が来場した。

今年は受賞作品の展示に加え、㈱ジェイアール東日本企画が管理・販売する媒体の商品をプレゼンテーションする第二会場が設けられた。

この第二会場では実際の「まど上チャンネル・サイドチャンネル・トレインチャンネル」の位置にモニターが取り付けられるなど、E235系新型車両の車内を体感できるようなモックアップを設置した展示が行われていた。

この他にも商品のプレゼンテーションとして、6種類のリーフレットと共に設置された有機ELを用いた透過型ディスプレイでは、タッチパネルを利用したコンテンツで「山手線E235系ADトレイン・ビーコン・スーパーラッピング」の商品訴求がなされていた。

今回の受賞作品は、交通広告グランプリ特設サイト（awards.jeki.co.jp）でも閲覧が可能となっているのでどうぞアクセスください。

第一会場

第一会場「車内体験ゾーン」

第二会場「コミュニケーションゾーン」

第二会場「透過型ディスプレイ」

広場

「アウトドアライフ」

理事　三宅　裕司（小田急電鉄株式会社）

広告業界に関わるようになって一年余、私のような若輩者に寄稿の機会を与えてくださり、感謝申しあげます。

自慢できるほどの趣味や特技はありませんが、せっかくの機会ですので、長く付き合っているアウトドアの話題について触れさせていただきます。

よくアウトドア、キャンプの魅力について聞かれるのですが、多くはその〝非日常性〟にあろうかと思います。

たとえば山間部で、チェアに身を沈めて雑念を払うと、空気の揺らぎや、野鳥の鳴き声、さらさらと流れるせせらぎ・・・、様々な〝音〟〝動き〟が次第に大きく、そして数多く感じられるようになります。また、よほど多くの機材を持ち込めば別ですが、基本的には自然のなかでは日常の利便性からは離れた、平たく言えば不便な環境で面倒な行動を強いられるので、限られた条件のなかで、色々と試したり、協力しあったり、試行錯誤や創意工夫を繰り返して、ひとつひとつ課題をクリアしなければなりません。

家の庭でダッヂオーブン

このように自然は、本来人間が持っている様々な感覚の鋭利さや、創造力を最大限に引き出してくれます。気候の変化や四季の移り変わりを、視覚だけでなく、五感をフル活用して、そこで過ごす術を学ぶので、この体験と感動は、日常とは異なる記憶の襞に、とても深く刻まれるのではないでしょうか。

我が家の子供たちは、まだ歩けない頃から家内とキャンプに連れていったので、幼い頃は芝生の上で転げまわったり、外遊びが大好きでした。長女が中学生になると、部活の関係で頻度は減りましたが、何とか予定をあわせてキャンプに出かけ、夕食後は家族4人で焚き火を囲み、学校での様子や将来の夢、私がどんな仕事をしているかなど、普段はなかなか話せないことを語り合い、家族の絆を深める貴重な時間を持つことができました。家族のうち、男性は私だけで、力仕事や用具の取り扱いはお手の物なので、父親としての威厳を保ついい機会でもありました。

炭火ＢＢＱグリル

食事やアクティビティのほかに、キャンプ用具も魅力の一つです。キャンプで欠かせないグッズの一つに、照明器具のランタンがあります。便利な電池式もありますが、ガスやガソリンを燃料とするランタンの灯りは、一味違った雰囲気があります。電球に例えるとフェラメントの役割を果たす〝マントル〟と言うネット状の繊維を焼いて、炭化させるなどの手間がかかるのですが、こうした作業がまた面白い。

ランタン

休日にドリップコーヒーを飲みながら、ブラシを使ってメンテナンスするひと時は、楽しいですよ。なかなかキャンプに行けない時は、庭に焚き火台や三脚を持ち出してダッチオーブンでローストチキンを作ったり、グリル料理を家族や友人に振舞ったりして楽しんでいます。

ローストチキン

最近では、アウトドアのスタイルも多様化しています。一例としてグランピング。〝グラマラス〟と〝キャンピング〟を掛け合わせた造語で、テントや食事、アクティビティを、ホテルや宿泊施設が提供し、自然環境のなかで高級ホテル並みの快適さやサービスを体験するという、贅沢なキャンピングスタイル。今年は全国でグランピングの施設が次々と開業しています。一方で、気軽に自宅で楽しむ〝ベランダグランピング〟という新たなジャンルも派生しているそうです。

テントとリビングシェル

アウトドアデビュー、いかがですか。

次回の広場もお楽しみに。

10回目の「エキからエコ。」にご協力をありがとうございました

第10回地球温暖化防止キャンペーン実施報告

今年も8月1日（月）～31日（水）の1か月にわたり、区切りの10回目を迎えた地球温暖化防止キャンペーンを展開し、無事終了いたしました。

今年の夏、当初、関東では水源地の降雨量が少なく水不足が懸念されていましたが、8月に入ってからは台風の影響でまとまった雨が降ったため、どうやらその問題は解消されたようです。しかし残念なことに、例年は夏休みの観光でにぎわう北海道では、立て続けに襲った台風から発生した豪雨による河川の氾濫も相次ぎ、観光客が孤立したり、東北地方でも同じように堤防が決壊による深刻な被害のニュースを目にしています。この場をお借りして、被害に遭われた皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

10回目の節目となる今回のキャンペーンは、ポスターに10thのロゴを使用することでさらにキャッチーに、夏休みの旅行や通勤途中の鉄道の駅構内や車内で「エキからエコ。」のポスターやデジタルサイネージを、多くの方の目に留まったのではと思います。このポスターを目に留めて、今自分がしている「エコ」、少し風化してきたように感じる「エコ」、などについて改めて考えたり、ご家族やお友達と話し合っていただければ、10年の積み重ねになったのではと考えております。

全国のJR、私鉄、地下鉄を含む35社の鉄道会社をはじめ、関係するハウスエージェンシー、広告会社、掲出撤去作業会社のご協力により、延べ50万枚のポスターを掲出することができました。

クリエイティブ制作も、著名アーティスト、クリエイターの皆さまにキャンペーンの趣旨に快くご賛同いただき、ボランティアとしてご協力をいただきました。

改めてキャンペーンに関係してくださった多くの皆さまに、深く謝意と敬意を表させていただきます。

今回も、多くの皆さまが駅や車内で撮影されたポスターの写真をSNSなどを通じて「エキからエコ」。の情報を共有されていました。中でも「また今年も…」「毎年恒例…」といった表現が目につき、キャンペーンが鉄道利用者の方にもすっかり定着したようです。

以下はその一部です。

・みなさん、エキからエコですよ！がおー！（虎）

・調べたら「エキからエコ」ポスターって随分昔から続けてるんね。

・エキからエコの広告好き

・この広告の彫刻に似た作風の彫刻見たことあんな～と思ったら、ホピセンのエントランスの彫刻を作製された宮田亮平先生ではないか。

・宮田亮平さんの中吊りまたみれた

・日輪と平成の虎　大津英敏のあのポスターほしい。

・毎年恒例の4作家によるJAFRAのポスター。日比野克彦は何を描いたんだ…??

・メインの絵がアーティスティックすぎて何が言いたいことか即座に判然としませんが、「考えさせる」自体が目的のようですね。

・最近、電車移動の際にこの絵を見かける。吸い込まれるように、その中に連れて行かれるように、見入ってしまう。これをモチーフにお話がかけそうなほどに。宮田亮平さんの作品。

小田急電鉄・唐木田駅

都営地下鉄・戸越駅

名古屋鉄道・金山駅

京阪電鉄・淀屋橋駅

西日本鉄道・大牟田駅

JR 北海道・札幌駅

JR 東日本・あおば通駅

JR 東日本・新潟駅

東武鉄道・池袋駅

西武鉄道・所沢駅

東京メトロ・銀座駅

東京モノレール・中づり

横浜高速鉄道・横浜駅

JR 東海・名古屋駅デジタルサイネージ

名古屋市交通局・栄駅

JR 西日本・大阪駅デジタルサイネージ

阪急電鉄・梅田駅

近畿日本鉄道・大阪難波駅

JR 四国・高知駅

JR 九州・姪浜駅

北海道支部

支部総会を開催しました

去る、5月25日（火）北海道支部（幅口堅二支部長）では、平成28年度北海道支部定期総会を開催しました。当日は、札幌全日空ホテル「桂の間」に支部会員社20社中（賛助会員2社含む）16社の出席がありました。

開催にあたり、最初に幅口堅二支部長（㈱北海道ジェイ・アール・エージェンシー代表取締役社長）より「3月26日に北海道新幹線が開業した。今年度は新幹線の旅客状況を勘案した広告展開をしていかなければならないのでは」との提案があった。また、「JAFRA北海道支部会員各社の一層のご尽力、ご協力をお願いしたい。」と挨拶があった。

幅口社長

続いて以下の議案についての審議を行い、満場一致全て原案通り承認決議されました。

・平成27年度事業報告
・平成27年度決算
・平成28年度事業計画
・平成28年度予算

また、会計監査報告は札幌駅総合開発株式会社部長森下氏、株式会社コウセンプランニングオフィス代表取締役木村氏が行い、木村氏より問題無い旨の報告がなされました。

その後の懇親会には18社より46名が参加し、支部会員の親睦を深めていた。

四国支部

支部総会を開催しました

四国支部（田中善一郎支部長）は、6月27日（月）JRホテルクレメント高松「マーレ」において、平成28年度四国支部総会を開催しました。

○開催日：6月27日（月）
○会場：JRホテルクレメント高松20F「マーレ」
○出席会員数：14名（本人出席7名、代理人出席5名、委任状出席2名）
○議題
①平成27年度事業報告について
②平成27年度決算について
③平成28年度事業計画について
④平成28年度予算について
⑤公益社団法人日本鉄道広告協会四国支部会則改正について
⑥役員改選について

支部長の挨拶の後、以上の議案について審議が行われ、全て満場一致で了承、閉会しました。

今後の四国支部は、例年と同様、支部交流会の開催、視察研修会の開催、本部主催のセミナー研修会を収録したDVD研修会の実施、などを予定していますので、多くの会員社皆さまの参加をお願いいたします。

首都圏支部

支部総会を開催しました

7月4日（月）、首都圏支部（原口宰支部長）ではメトロポリタンホテル富士の間において、会員社115社中93社（内本人出席46社、委任状による出席47社）が参加し、平成28年度JAFRA首都圏支部総会を開催しました。

原口支部長の挨拶の後、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画及び予算などについて報告が行われ、すべて了承されました。

総会終了後、資生堂ジャパン株式会社 コミュニケーション統括部長小出誠氏をお招きし、「資生堂のコミュニケーション戦略」と題したセミナーを開催、会員の皆さまは熱心に聴講されていました。

また、懇親会に参加された皆さまは和やかに歓談され親睦を深められていました。

詳細は以下の通りです。

セミナー

【支部総会】 15時00分～

■報告事項

(1)平成27年度活動報告及び収支について

(2)平成28年度首都圏支部幹事について

(3)平成28年度活動計画及び予算について

【セミナー】 16時00分～

■講師 資生堂ジャパン株式会社 コミュニケーション統括部 長 小出誠氏

■演題 「資生堂のコミュニケーション戦略」

【懇親会】 17時30分～

原口支部長挨拶

約1週間前にJAFRA本部の総会があり、その時には英国のEU離脱という、あの思いがけない結果が1番の話題になっておりました。1週間後ですから同じことが話題になるのだなと思っていましたら、今度はバングラデシュでテロがあり、明らかに日本人も標的になるという、誠に他人事ではない大変な事態が起きております。1週間たたない間に世界が色々大きく動くという本当に激動の時代だということを実感しており、いずれにしましても、世界の情勢が非常に厳しい中で日本への影響というのはなかなか楽観できない状況になっております。私ども広告業、或いは媒体を管理しているそれぞれの各社といたしましては、どうしても世間の情勢、特に経済情勢に左右されやすく、クライアント各企業がまず切ってくるのは交際費であったり、広告費であったりという冷厳たる現実がある中では、メディア間で競争がありパイを大きく増やすことが大変難しいです。よく言われることですが、紙のメディア、活字のメディアが厳しくなっている中、交通広告は未だに、特に鉄道広告は鉄道に人が集まるという先進国の中では特異な日本の国情を反映してまだまだ検討しています。それは今日お集まりいただいている各社のご努力があってのことであり、まだまだ健闘していると考えておりますが、行き先が明るい、或いは右肩上がりになるということを断言できる方はこの席にだれもいらっしゃらないだろうと思います。そのメディア間の競争の中で交通広告が生き残っていく、そして成長していくためには、媒体社として魅力ある商品をどう作るのかということと、それぞれクライアントとの窓口をつとめる各社が、クライアントがメディアを選ぶときに交通広告を是非選んでみようと、交通広告もメディアミックスの中に入れようともう1回思っていただけるようなそういう営業活動が不可欠であるというはいうまでもないことです。その中でJAFRAという組織はその大同団結のために作られた全国組織であり、総会の席でも申し上げましたがこの首都圏支部というのはそのマーケットの大きさからしてもリーダーシップといいますか、数字としては1番大きな圧倒的な大きさのものを持っているわけですから、私どもががんばって数字をあげていかなければという責務を負っているかと存じます。私も微力ではございますが、皆さまのお力添えを受けまして業界全体がwin-winになり大きくなりますように粉骨砕身努力をしてまいる所存でございますのでまたこの1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

挨拶する原口支部長

近畿・中国・北陸支部

支部総会を開催しました

近畿・中国・北陸支部（山本章義支部長 ㈱JR西日本コミュニケーションズ代表取締役社長）では、7月6日（水）、大阪駅ノースゲートビルラグナヴェールプレミアにおいて、平成28年度支部総会を開催しました。

開会にあたり、山本支部長より次ページのような挨拶がありました。

【支部総会】

審議事項

①平成27年度事業報告及び決算報告

②平成28年度事業計画案及び予算案

が、承認されました。

支部総会で挨拶する山本支部長

セミナー

報告事項として、支部長の委嘱変更及び支部事務局担当者変更・代表者変更・入会・退会及び支部会員数と、「第10回地球温暖化防止キャンペーン」がありました。

【セミナー】

総会終了後、同会場に、近畿大学教授　高橋一夫氏を講師としてお招きし、特別セミナーを開催しました。参加された40社66名の会員の皆さまは熱心に聴講されていました。

【タイトル】

『地方創生時代の関西の観光トピックス』

【セミナーサマリー】

関西では今後、ゴールデンイヤーに向けて様々なイベントがあり、官公庁からの交付金等を活用して行われる事業がある。

ワールドカップラグビーでは、東大阪市や神戸市で準備が進んでいる。東大阪市では花園ラグビー場未来活性化委員化が設立され、名実ともに日本ラグビーの拠点となるためW杯の成功はもとより、東大阪固有のアイデンティティの確立などを目的に、地元での観光交流や地方創生と結びつけたイベントなどを計画している。また、チームキャンプ地の誘致でも自治体は動き出している。

東京オリンピック・パラリンピックでは、内閣府よりホストタウンの推進が図られ、国からの財政措置もあるため第1次で44か所、第2次で47か所の自治体登録があり、すでに成果を出している所もある。自治体はスポーツ、観光のセクションとアクションプランを取りまとめ、地域のスポーツレガシーをつくらなければならない。

関西ワールドマスターズゲームズ2021は、選手がオープン参加型で、滞在期間や同行者も多いため費用対効果も高く、競技会場の誘致に注目が集まっている。

スポーツ庁と経済産業省では、スポーツが生み出す周辺産業への波及効果や国の成長に貢献する潜在力など、スポーツの価値を幅広くとらえた産業政策を展開していくビジョンの策定を目指しており、スポーツ産業の進化に伴うビジネスチャンスが期待される。

IR（統合型リゾート）の誘致で、関西では大阪市・泉佐野市・和歌山市が手をあげている。懸念されるリスクは海外事例を参考にして対策を講じながら開発エリア（自治体）と事業者（民間）を選定していくが、選定までのスケジュールは短縮の動きを見せている。

マーケティング環境の変化により従来型観光振興は限界がきており、観光振興の進め方、財源負担、役割などの事業開発をつくる提案が必要である。今後のツーリズムビジネスの牽引役の一つ、DMO（自治体と民間事業者による観光ビジネス共同体）

懇親会

山本支部長挨拶

昨年度の日本の経済は、緩やかながら景気回復に向かいつつありましたが、昨年半ば以降の中国はじめ新興国経済の顕著な減速、長引く中東情勢悪化、昨今の英国EU離脱など、混沌とした国際情勢の影響を受け、円高株安など、景気の回復が遅れる可能性が出てきております。

広告業界では、平成27年度の日本の総広告費は辛うじて前年実績を超えましたが、インターネット広告を除くと、マス4媒体ほか軒並み減少する結果となり、鉄道広告においてもほぼ前年並みながらマイナスに転じました。今後は堅調に伸びているデジタルサイネージなど時代のニーズに適応したメディアの伸びが期待されるところであります。

当協会では、「地球温暖化防止キャンペーン」や「鉄道利用マナーアップキャンペーン」の継続的取り組み。ICT技術情報の収集と共有化により鉄道媒体の付加価値向上、鉄道広告に関するマーケティングデータの整備・提供によるアカウンタビリティ向上を推進してまいります。当支部におきましても、会員各社、並びに、本部との強い連携により事業躍進に向け取り組んでまいります。

は、観光地経営を担う専門性の高い組織として、官と民の新たな役割分担や民間人材によるマネジメント、安定財源の確保を行い、域内外からの誘客、消費拡大、所得・雇用・税収の確保を目指すべきである。

セミナー終了後の懇親会では、出席された会員の皆さまが和やかに親睦を深められていました。

中部支部

総会を開催しました

中部支部（阿久津光志支部長）は、7月19日（火）レセプションハウス名古屋通信会館6階「菊の間」において、支部総会を開催した。

○日時：平成28年7月19日（火）
○会場：レセプションハウス名古屋通信会館　6階「菊の間」
○スケジュール：
支部総会：17時15分～17時45分
セミナー：15時00分～17時00分
懇親会：18時00分～

総会は、支部会員35社のうち31社が出席（本人出席28社、委任状出席3社）、支部運営規則第15条の規定により、本総会が成立。続いて、支部運営規則第14条の規定に基づき、事務局より株式会社オリコム名古屋支社　有吉英明支社長が議長に選出、指名され、以下の5つの議案について審議が行われた。

第1号議案「平成27年度事業報告」及び第2号議案「平成27年度決算」について
第3号議案「平成28年度事業計画」について
第4号議案「平成28年度予算」について
第5号議案「役員選任」について

事業報告及び決算については、会計責任者の株式会社近宣名古屋支社井野口聡司支社長より監査の結果問題がないと報告があった。また今回、支部役員の改選期であったが、満場一致にて全役員留任となった。

以上、全て原案どおり承認され、議長が本総会での目的事項を全て終

総会

阿久津支部長挨拶

本部総会が6月28日、ホテルメトロポリタン（池袋）にて開催された。その本部総会後に、技術開発委員会による「交通広告とスマートフォンの連携」というテーマでセミナーが開催された。「電車の中ではスマートフォンを触っている人が多く、そのような人は交通広告を見ていないのではないか」という漠然とした印象を持たれると思うが、調査では、むしろスマートフォンを利用している人たちの方が交通広告を視認しているという結果となり、交通広告とモバイルとの親和性が高いことがわかった。今後は交通広告とモバイル双方を連携させることにより、更なる交通広告の発展が見込まれる。

世間に目を向けると、イギリスのEU離脱があったように何が起こるか分からない状況下にあるが、そのような状況であるからこそ、消費者に密着したメディアとして地位を確立している交通広告の存在価値が改めて認められてきているのではないかと感じる。デジタルサイネージの開発により交通広告は変わりつつあるが、交通機関を利用する消費者に直接的に訴求できるという交通広告の強みはこれからも変わらないと考える。

阿久津支部長

名古屋駅周辺では大名古屋ビルヂング、JPタワーが開業し、そしていよいよJRゲートタワーが開業する。また、名古屋駅には様々な交通機関が集中している。JRゲートタワーの開業を契機に、JRは勿論のこと、名古屋市営地下鉄、名鉄、近鉄、それぞれが持っているメディアの存在、そして名古屋が全国で最も活力のある地区であることをしっかりと発信していくことが媒体社としての重要な役割だと思っている。引き続き会員各社の一層のご協力をお願いしたい。

了したことを宣言し、中部支部平成28年度定期総会は閉会となった。

支部総会の前に、同会場にて、株式会社ジェイアール東日本企画 デジタルサイネージ推進センター長 山本 孝氏、同社 駅消費研究センター長加藤 肇氏を講師にお招きし、「JR東日本エリアにおける交通広告の展開とデジタルサイネージのトレンド」、「移動者マーケティングから見た交通広告・デジタルサイネージの可能性」という演題でセミナーを開催、28社より88名の参加があった。

山本氏の講演では、デジタルサイネージの現状・展開事例から2020年の東京オリンピックに向けたデジタルサイネージの果たす役割に至るまで、媒体社の立場に立った内容が中心であった。一方、加藤氏の講演では、移動者（消費者）に主眼を置き、「駅消費」の実態やその背景に潜む消費インサイトについての説明があり、また移動者マーケティングについて事例を交えた紹介があった。

媒体社、消費者それぞれの立場でのデジタルサイネージの現状から今後の可能性について理解促進が図られるとともに、実務に活かせる非常に興味深い講演内容であったため、参加者は皆真剣に耳を傾けていた。

セミナー

支部総会終了後に同会場にて、28社61名が参加して懇親会を行った。副支部長の株式会社電通名鉄コミュニケーションズ 伊藤淳五代表取締役社長の挨拶・乾杯に始まり、東海廣告株式会社 髙橋公比古代表取締役社長の中締めにて終了。出席した支部会員は終始和やかな雰囲気のなか親睦を深めていた。

懇親会であいさつする伊藤淳五副支部長

委員会便り

人材育成委員会

「交通広告ビジネス概論 別冊 広告業界の動向 平成27年（2015年1月～12月）」を発行しました。

人材育成委員会（小野寺忠之委員長）では、「交通広告実務研修」などで使用しているテキスト「交通広告ビジネス概論」（2014年発行）の別冊版として「広告業界の動向 平成27年（2015年1月～12月）」を発行いたしました。「交通広告ビジネス概論」とともに、セミナー、研修などでご活用ください。

2016年8月31日発行
A4サイズ 12ページ 4色

編集後記

標高差約200m、全長700mの先には、どうやって建立したかナゾの多い、三佛寺投入堂の姿を拝むことができます。全行程命綱なしのほぼロッククライミング状態ですが、自分の五感と瞬時の判断のみを頼りに足を踏み出す修験道です。目的地にたどり着くと、今までとは違った何かが見える…のかもしれません。
皆さまの秋のイチオシ観光地を教えてください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ（http://j-jafra.jp）の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.39は12月1日発行予定です。お楽しみに。